MITSUBISHI

0108872HE9601

ペリメータファン　<ローカバータイプ>

形　名

APF-2515LS₁

取付工事・取扱説明書

(工事店さまへ)

取付工事を始める前に説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。

取付工事は販売店・工事店さまが実施してください。

■この製品はAC100V製品です。電源を確認して取付工事を行ってください。

取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

(お客さまへ)

ご使用の前に説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

なお、お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠ 警告　誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

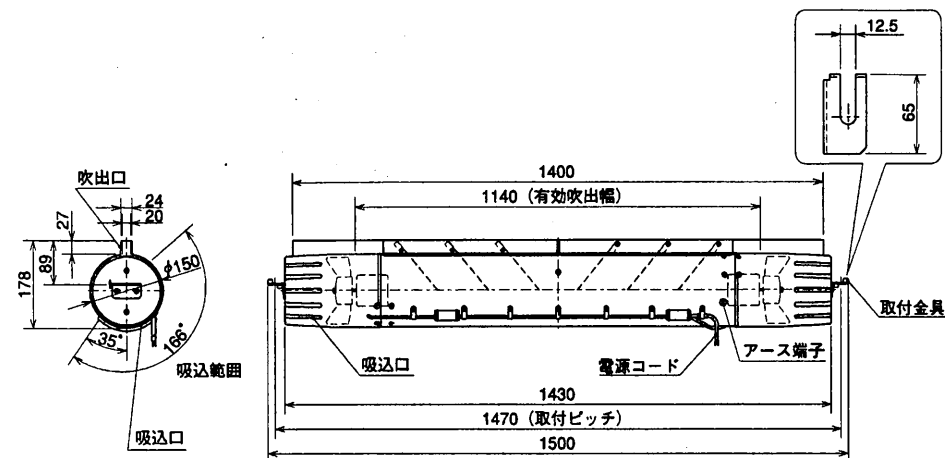
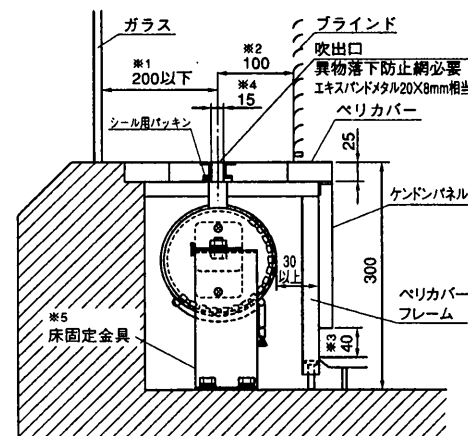
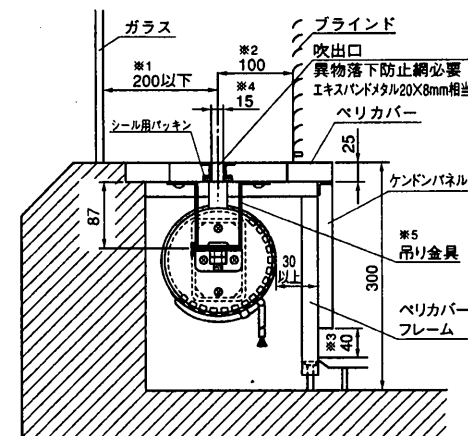
禁止	●爆発性の粉じんやガスの発生する場所または発生する恐れのある場所には取付けない（爆発や火災の原因になります）
分解禁止	●改造や必要以上の分解はしない（火災・感電・けがの原因になります）
水ぬれ禁止	●製品を水につけたり、水をかけたりしない（ショートや感電の恐れがあります）
接触禁止	●運転中は危険ですから、製品の中に指や物を入れない（けがの恐れがあります）
指示に従い必ず行う	●AC100Vを使用する（間違った電源を使用すると火災や感電の原因になります） ●ペリメータファンをメタルラス張り・ワイヤラス張り・金属板などの金属と電気的に接触しないように取付ける〔電気設備の技術基準第167条〕（接触して取付けると漏電した場合、発火することがあります） ●漏電しゃ断器を必ず取付ける（取付けないと感電する恐れがあります） ●取付工事や保守点検の際は必ず分電盤のブレーカーを切ってから行う（感電やけがをすることがあります）
アース接続	●アースを確実に取付ける（故障や漏電のときに感電することがあります）

⚠ 注意　誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	●直接炎があたる恐れのある場所には取付けない（火災の恐れがあります） ●湿度90%以上の空気を本体内に通さない（感電や腐食の恐れがあります）
指示に従い必ず行う	●本体の取付工事は十分強度があり、振動のないところに確実に行う（落下によりけがをする恐れがあります） ●配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う（接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります） ●取付工事・保守点検の際は手袋を着用する（着用しないと、端面などでけがをする恐れがあります） ●長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る（絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因になります）

外形寸法図

(単位mm)

施工例

※1 窓ガラス面と吹出口の距離は200mm以下とする。200mmを超えると気流は窓に沿いにくくなります。

※2 ブラインドと吹出口の距離は100mmを目安とする。100mm以下ではブラインドにゆれが生じる恐れがあります。

※3 吸込口は高さ40mm、幅 製品全長以上確保する。

※4 ペリカバーの吹出口は15mm幅とする。

※5 床固定金具、吊り金具は取付状態に応じて別途製作します。お近くの三菱業務用/産業用換気送風機ご相談窓口へご相談ください。

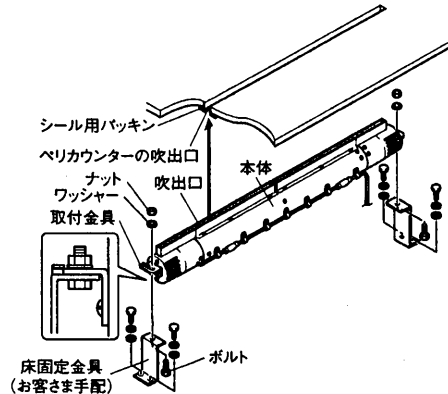
取付け前のお願い

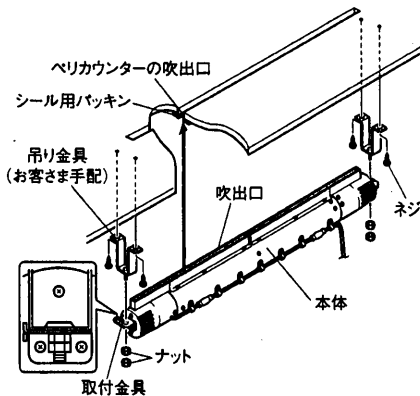
●次のような場所には取付けないでください。(取付場所が悪いと故障の原因になります)
- ・45℃以上になる場所
- ・0℃以下になる場所
- ・水のかかる恐れのある場所
- ・腐食性ガスの発生する場所や化学薬品を扱う場所
- ・氷結する恐れのある場所
- ・ほこりや油煙の多い場所

●保守・点検ができるよう点検口を必ず設けてください。

取付方法

■本体の取付け

本体の固定のしかたはそれぞれ現地施工状態に合う方法で確実に固定してください。

床固定の場合

1. お客さま手配で床固定金具を準備してください。
2. お客さま手配でペリカウンターの吹出口にシール用パッキンを貼り付けてください。
3. 本体の取付金具と床固定金具をボルト・ワッシャー・ナットで固定する。
4. ペリカウンターの吹出口と本体の吹出口を合わせて位置決めし、床固定金具を床に固定する。

吊り金具使用の場合

1. お客さま手配で吊り金具を準備してください。
2. お客さま手配でペリカウンターの吹出口にシール用パッキンを貼り付けてください。
3. 吊り金具をペリカウンターに確実に固定する。
4. ペリカウンターの吹出口と本体の吹出口を合わせて位置決めし、吊り金具のボルトに本体の取付金具を通し、ダブルナットで固定する。

■電気工事

1. 本体から出ている電源コードをAC100V電源に接続する。
2. アース工事(D種接地工事)を行う。

お願い

●複数台運転する場合は電源線は電流の合計値に合った容量のものを使用してください。
●モーターブレーカーの容量は最大負荷電流(仕様欄参照)の1.2～1.5倍の余裕をみてください。
●電磁接触器、スイッチの容量選定にあたっては最大負荷電流×接続台数を目安としてください。また、電磁接触器を操作するスイッチの場合のスイッチ容量は、電磁接触器の操作コイル電流以上としてください。

試運転

取付け、電気工事終了後、必ず試運転を行い次の確認をする。

1. 電源を入れても羽根が回転しなかったり、回転が正常でない場合(断続運転するなど)、結線が正しく行われているか確認する。
2. 電源線に傷、いたみがないことを確認する。
3. モーターブレーカーが正常に作動することを確認する。
4. 異常振動・異常音がないか、風漏れがないかを確認する。

保守点検

保守点検は専門の業者に依頼する。

- ・保守点検の際は必ず電源を切ってから行う。
- ・モーターの軸受けには両シールド玉軸受けを使用していますので注油の必要はありませんが、グリースの寿命は周囲温度45℃で約1万時間ですので使用状況(異常音・風速減少など)によっては点検のうえモーター交換が必要です。

アフターサービス

アフターサービスは、お買上げの販売店へお申しつけください。
なお、おわかりにならないときは、三菱業務用/産業用換気送風機　修理窓口・ご相談窓口のお近くの本社、支社、支店または各地区のサービスステーションへご相談ください。

■補修用性能部品の保有期間

当社はこの三菱ペリメータファンの補修用性能部品を製造打切り後7年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕　様

形名	電源 (V)	周波数 (Hz)	消費電力 (W)	電流 (A)	風量 (m^3/h)	平均吹出風速 (m/s)	騒音 (dB)	最大負荷電流 (A)	質量 (kg)
APF-2515LS1	AC100	50	7.6	0.078	150	2.4	32	0.08	6.5
		60	8.6	0.089	150	2.4	32	0.09	

※消費電力・電流は開放時の値です。
※平均吹出風速は厚さ10mm 幅15mmの吹出スリットとの組合わせ時の値です。
※風量はオリフィスチャンバー法による値です。
※騒音は正面1.5m地点でのAスケール値です。

三菱電機株式会社
中津川製作所　〒508-8666　岐阜県中津川市駒場町1番3号　電話0573-66-2111

この説明書は、再生紙を使用しています。